

利用者や児童ら絵付け

涼しげな音響く「風鈴まつり」

豊橋・さくらピア

軽やかな音色で暑さを吹き飛ばして。豊橋市障害者福祉会館(さくらピア)で、「七夕 風鈴まつり」が開催中。素焼きの風鈴300個が、館内で涼しげな音を響かせている。

同館では地域交流を目的に4年前から「風鈴まつり」を実施。今年6月2日から飾り付けを開始した。同館利用者はじめ、地元向山・八町・旭各小学校の特別支援学級を中心とする児童たち、近隣住民や施設利用者、ボランティアを学ぶ大学生らが絵付けした風鈴を結んだひもが、館内に張り巡らされている。

風鈴は絵の具や色鉛筆、マジックなどで自由に彩色され、「えがお」「そよかぜ」「バスケットが上手になりたい」「仕事頑張ります」「素敵なお会いがありますように」など微笑ましい言葉や願いが書かれた短冊が付けられた。館利用者はもちろん、出品した児童の家族、近くを通った住民らが見学に訪れている。



風鈴が並ぶ館内＝さくらピアで

まで。5日には午後6時から館内で恒例の「七夕織姫ライブ」も予定。雅楽や二胡の演奏会を予定している。(田中博子)